

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和6年5月30日

部局等名	消防本部	課かい名	消防総務課	推進責任者氏名	大柳誠二
------	------	------	-------	---------	------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象: 全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	取組目標に掲げていた事項については実行できており、執務室及び隣接する小会議室等も使用していない際の消灯を徹底した。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないとき(離席時や昼休み等)はスリープモードの活用やふたを閉じ消費電力を削減する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	情報共有については、積極的に電子中心にするように努めた。裏紙の再利用促進として、プリンターには裏紙をセットしておくよう心掛けた。
	具体的内容	庁内の情報共有等を行う際は、SideBooksやLoGoチャットを積極的に活用し、印刷が必要な場合は、両面印刷、集約印刷、裏紙の再利用を推進する。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品等の在庫管理はこまめに実施し、必要以上の購入とならないよう管理した。フラットファイルはホチキス止めを外して裏面も使うように心がけ、封筒は通送便として再利用に努めた。
	具体的内容	物品等は計画的に購入し、ファイルや封筒などは再利用に努める。	

【対象: グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

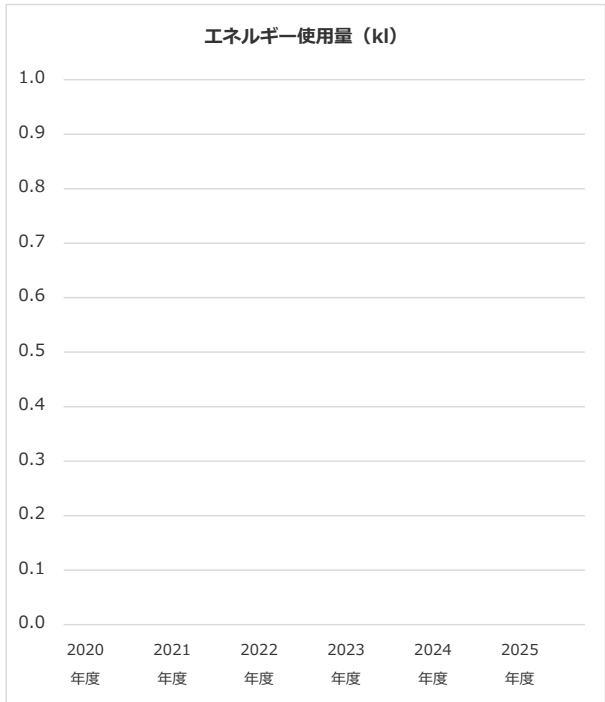
	2020年	2025年度
エネルギー使用量(GJ)		
エネルギー使用量(kl)		0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!

各施設の回答で記載しています。

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月1日に実施（対象者9名全員参加） C-EMSの概要と当年度の全庁目標及び課内目標について確認するとともに、具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月1日に実施（対象者9名全員参加） 消防総務課では対象となる法令はないが、警備課で該当している法令を施設管理課として把握するため、研修を実施した。
新任・異動者研修	■ 実施	2月1日に実施（対象者1名） 1月1日異動の職員を対象とし、課内目標について確認するとともに、具体的な取組を確認した。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定
該当なし		

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
会議報告や情報共有はLoGoチャットやタブレットを積極的に導入しており、ペーパーレス化が大きく進んでいると評価している。 昨年度は一昨年度と比較し夏季の気温が高かったこともあり、所管施設のエネルギー使用量は増加してしまった(警備各課回答参照)が、職員の健康管理の観点からやむを得なかった部分であるとする。	引き続きエネルギー使用削減に繋がる取組みを多角的な視点で検討していく。 電子化の取組みや温暖化の影響により電気使用量が増えていくことが考えられるため、OA機器や、施設設備の更新の際には省エネルギー型製品の導入に努める。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月31日

部局等名	消防本部	課かい名	予防課	推進責任者氏名	甲 和洋
------	------	------	-----	---------	------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標	実績／今後の課題など
1	重点取組項目 A. エネルギー使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・OA機器の使用時以外は、節電ボタンを押し消費電力の削減を行った。また、終業時には、主電源を切ることで待機電力のカットを行った。 ・公用車の運用に際して、各個人がアクセルワークを意識し、最適な燃費となるよう心掛けた運転を実施した。
	具体的内容 ・コピー機やシュレッダー使用後は、節電ボタンを押し、終業時はOA機器の電源が切られていることを確認する。 ・公用車は、緩やかな加減速などエコ運転に努める。	
2	取組項目 B. 資源の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ・査察業務における、タブレット端末を活用や、課内での情報共有では、LoGoチャットを活用するなど、印刷資料低減に貢献することができた。
	具体的内容 ・ペーパーレス化を推進し、紙で提供する必要のない情報や資料等はなるべく電子化して共有する。	
3	取組項目 C. 廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・決裁終了後のクリアファイルや、文書管理する際に発生したクリップ等は回収し取りまとめておき、再利用に努め廃棄物を削減することができた。 ・排出されたごみ類は、ごみ箱を分け管理を徹底することにより、廃棄物の削減及び適正処理に寄与することができた。
	具体的内容 ・ファイルや、クリップ等の事務用品は繰り返し使用(リユース)する。 ・廃棄物として出されるごみ類は分別に努める。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

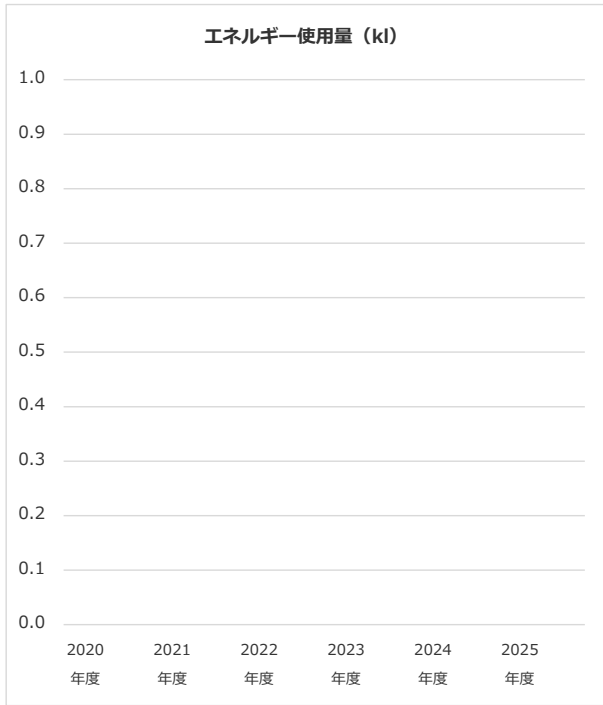
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況
1		計画
		実績
2		計画
		実績
3		計画
		実績



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月30日に課内研修にて実施。C-EMSの概要及び当年度の全庁取組目標を確認するとともに、予防課における年間取組目標及び具体的な内容を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	「C-EMSを通じた市役所温暖化対策研修」に基づき、異動者に対して消防本部における活動などを踏まえて情報共有を行い、環境配慮について意識向上を図った。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月31日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
年度を通して、実行可能な取り組み目標について課全体で協議し策定を行った。策定した目標達成に向け、取り組みを実施し、環境負荷の低減に努めることができた。 各取組項目の実績については、年度当初の「エコオフィス行動ルール」に基づき、「エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減」という目標を各個人が意識して業務にあたったため、各目標達成により全庁目標達成に貢献できたと考える。	今後の課の目標としては、更なる各種事務の電子化により、環境負荷の低減及び事務の効率化を推進していくことを検討している。 また昨年度掲げていた目標は継続して心掛けて業務にあたるとともに、他部署における良好な取り組み事例を参考とし環境配慮に努めた事業活動を行っていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月17日

部局等名	消防本部	課かい名	警防救命課	推進責任者 氏名	政近 年男
------	------	------	-------	-------------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	ノー残業ディの徹底を図ると共に、昼休みや退庁時の消灯に努め、出庁時は階段を使い省エネルギー化を図ることが出来ました。
	具体的内容	ノー残業ディの徹底を図ると共に、昼休みや退庁時執務室の照明を消灯する。出勤、退庁時はなるべく階段を利用する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	外部団体への通知文は、電子メールで行い、資料印刷は2分割の両面いペーパーレス化に努めた。
	具体的内容	外部団体への通知や資料提供は、なるべく電子メールで行いペーパーレス化の推進に努める。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	フラットファイルや封筒は、再利用可能な物は再利用し、コピー用紙はなるべく利用するようし、廃棄物の削減に努めた。
	具体的内容	フラットファイルや封筒は再利用し、コピー紙はなるべく裏紙を利用する。また、事務用品は本部内で共有する。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

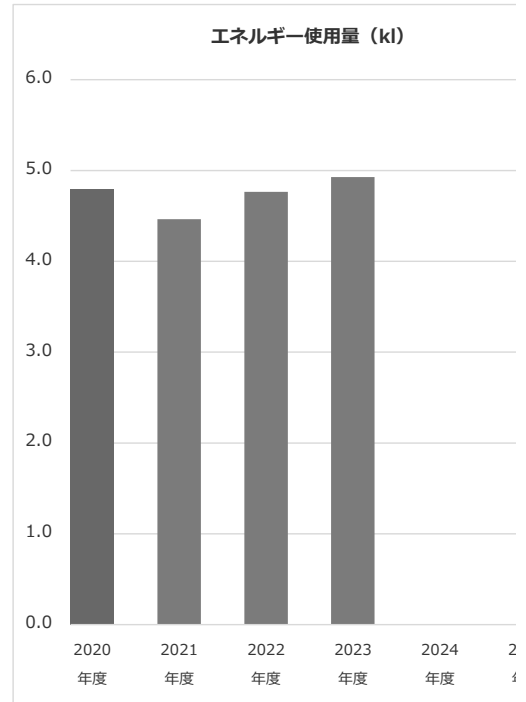
実績	前年度比	3.4%	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	新型コロナウイルス感染症により減少した消防団活動が戻ると共に、大規模災害に備えた訓練を各分団で行いなど消防団員が拠点とする器具置場を使用する機会が増えたことにより、エネルギー使用量が増加したものの。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	186.0	173.0	184.7	191.0		
エネルギー使用量(kl)	4.8	4.5	4.8	4.9	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-7.0%	6.8%	3.4%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	消防団器具置場	計画	使用しない電気プラグはコンセントから抜き、使用時だけコンセントに入れるように心がける。
		実績	器具置場を使用しない時は電気プラグ類はコンセントから抜くように心がけた。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月31日に実施（対象者11名全員参加）重点取組項目の全庁目標であるエネルギー使用量の削減取組目標について具体的に話し合った。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月31日に実施 対象法令の特別管理産業廃棄物管理責任者から法令内容と取組について説明があった。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月17日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
職員は日ごろから環境については、意識をもって業務に取り組んでいます。 目標達成については、個々の目標について職員全員が気を配り取り組んでいるため、達成しています。 また、ノー残業ディは、外部団体との行事がない限りは、達成しています。	課内職員全員が職場研修の講師となり、目標課題の取り組み方課題をもって話し合いが出来るように、職員がより一層環境に意識づけを持たせたい。



勤時や退
i印刷を行
裏紙をなる

2025 年度

削減と課の

について いての意

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和 6年 5月17日

部局等名	消防本部	課かい名	指令情報課	推進責任者氏名	入澤 浩
------	------	------	-------	---------	------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	執務室の空調は取組目標を目安に設定することでエネルギー使用量の削減に努めました。また、夏季は、外部からの採光が十分あるため、来庁者の対応がない場合は、執務室を消灯し執務にあたりました。
	具体的内容	執務室を温度や湿度を確認しつつ適切にエアコンを使用するとともに、仮眠室や通路等にある灯火類をこまめに消灯して使用量の削減に努めます。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	定期的に、施設の見回りを行ない、蛇口の閉め忘れ等を確認するとともに、会議資料は供覧できるよう電子化に努めました。また、印刷する場合には両面印刷・集約印刷を基本とし資源を有効に利用しました。
	具体的内容	会議等で配布する資料は電子化して共有できるよう工夫するほか、印刷枚数を事前に確認するなどして、紙使用量を削減することで資源の有効利用に努めます。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	紙資源の削減のため、印刷物の裏面利用や会議資料を両面印刷することを徹底し、廃棄物の削減に努めました。
	具体的内容	廃棄予定の紙資源について、裏面を活用し再利用化を図り、廃棄物が削減できるよう努めます。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

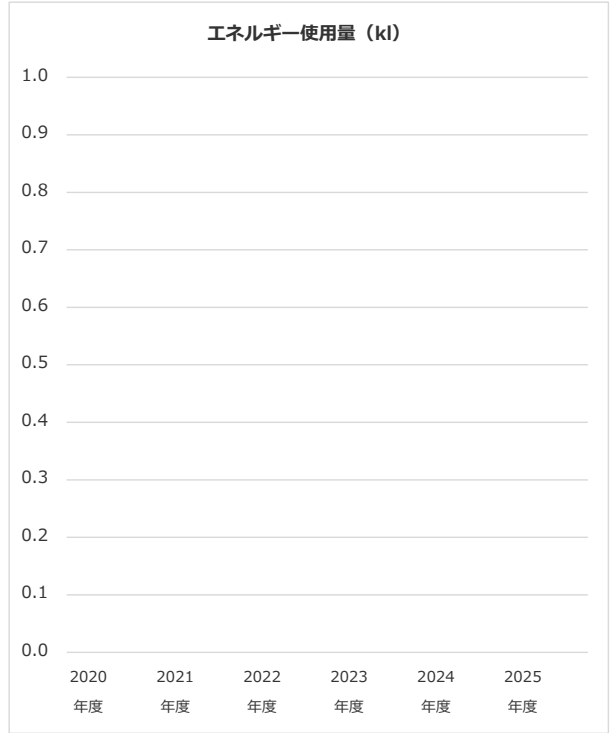
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	執務室・指令管制室・仮眠室・食堂・更衣室	計画	業務に支障がない灯火類のこまめな消灯 空調設定温度の適正化
		実績	朝礼等で課員へ節電への声掛けするとともに、執務室の冷やし過ぎ、温めすぎることがないように適宜確認しました。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月に「C-MES」を通じた市役所温暖化対策研修会」に出席した職員が課員に温室効果ガス削減に向けた市の取組等について説明し、今年度における課の取組項目の設定を行った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	新任者は該当なし。異動者にあつては、6月初旬に、C-MESにおける市の取り組み事項及び課の取組項目について確認を行った。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 6年 5月17日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
<p>課員各個人が、環境問題に前向きに取り組んでおり、資源の有効活用や節電対策も課内においては対応できていると評価しています。</p> <p>小さなことですが、環境への対応は毎日の積み重ねが重要と考えておりますので、引き続き、課内で共通認識をもって、エネルギー使用量の削減に取り組んでいきたいと思っております。</p>	<p>エネルギー使用量の削減は、継続的な取り組みが重要となることから、研修等を通じて職員の意識を向上させ、継続的に取り組んでいくことも大切な取り組みと感じています。</p> <p>今後の対応につきましては、環境対策について課員とのコミュニケーションの機会を増やし、効果的な取組ができるよう対応していこうと考えています。</p>

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和 6年 5月 31日

部局等名	消防本部・消防署	課かい名	消防指導課	推進責任者氏名	小澤順一
------	----------	------	-------	---------	------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象: 全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	冷房時の室温や暖房時の室温に注意し、エアコンの使用を行いました。今後も設定温度を確認し、不必要な電力を使わないようにします。
	具体的内容	室温の目安として、夏季の冷房時は25-28度、冬季の暖房時は18-20度の設定とします。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	担当内での打ち合わせ等には、紙の印刷を避け電子ファイルを共有しました。今後も引き続き実施し、他の担当とのやりとりもロゴチャット等を使用しながら紙の削減に努めていきます。
	具体的内容	紙で提供する必要のない情報や資料等はなるべく電子化し、紙で印刷が必要な場合は課内で共有します。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	在庫を確認し、必要な分だけを購入しました。今後は、本当に必要か代替案はないか考え購入するようにします。
	具体的内容	物品等は、計画的に購入し、適切な在庫管理を行います。	

【対象: グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

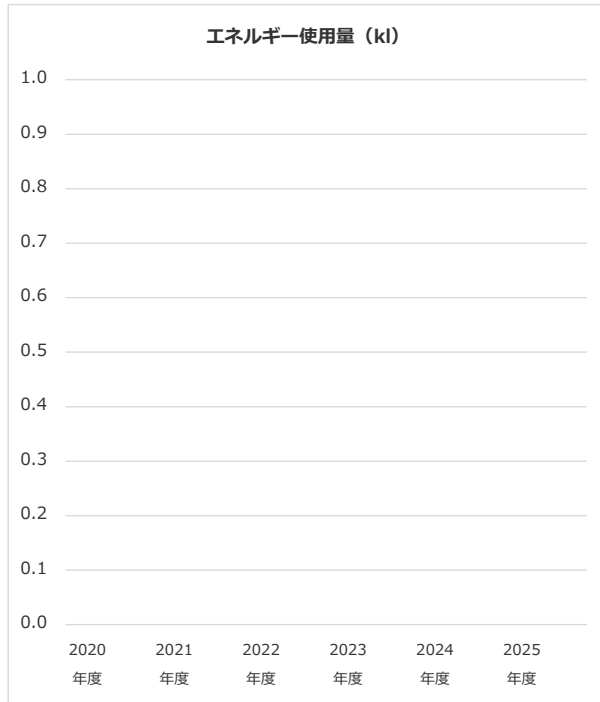
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月23日、24日に実施。(課員全員参加で実施) 「「C-EMS」を通じた市役所温暖化対策～地球温暖化対策実行計画(事務事業編)～」研修会の内容の伝達と、今年度の課の取組目標の設定を行いました。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 該当なし	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
電力の削減については、使用していない電気機器のコンセントをはずしたり、スリープモードを使用する等、努力が見られました。特に紙の削減に関しては、職員一人一人が気をつけて実施していたと感じます。ファイリングを上手に利用し、一つの資料を課内で共有できるようにしたことは、紙の削減に効果があると思いますので、引き続き実施していくようにしてください。	今後も引き続き、無理のない範囲で実施し、エネルギーや資源の無駄使いをしないようにし、業務の効率化を図ってください。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月22日

部局等名	消防本部	課かい名	消防署本署	推進責任者氏名	角田忠幸・竹永寛
------	------	------	-------	---------	----------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標	実績/今後の課題など
1	重点取組項目 A. エネルギー使用量の削減	窓の開放等による室内温度調整及び衣類調整を実施してエアコンの使用を控え、エアコン使用時は設定温度を遵守し、パソコンの電源をこまめに切り、短時間の離席でも画面を閉じるよう努め、不必要な照明は消灯し、必要最低限の減灯を心掛け、休憩時間は積極的に節電に努め、エネルギー使用量の削減を図った。 ・夏季における熱中症予防対策にエアコン・扇風機等の使用は必要不可欠であるため、職員の体調管理とエネルギー使用量削減の両立が困難になってきている。
	具体的内容 使用していないパソコンや照明はこまめに電源を切るよう周知する。また、エアコンは短時間外出によるこまめな電源OFFよりも適正な温度設定を心掛ける。	
2	取組項目 B. 資源の有効利用	電子媒体による情報の共有化を図ることで、不必要な印刷を削減した。 ・研修資料等は資料を複数人で共有してできる限り配布数を減らし、印刷する必要がある場合は、1枚あたりのページ数を増やし両面印刷するなど、使用枚数の削減を図った。
	具体的内容 紙使用量の削減が職員に定着してきた中で、更に用紙類削減や再利用に係る取組を実施する。	
3	取組項目 C. 廃棄物の削減	事務用品は適切に使用することで使用期間を延長させ、必要最低数の使用により廃棄物の削減を図った。 ・ごみの分別を徹底するとともに、使い捨ての物(紙コップ、割り箸等)は使わないようにし、夕食の宅配弁当は業者に空き容器的回収を依頼することで、ごみの発生及び削減を図った。
	具体的内容 再利用可能な事務用品や消耗品類は丁寧に使用し、使用期間の長期化を図り廃棄物を削減しつつ適切な在庫確認を行う。また、ごみの分別を周知徹底して、ごみの削減に努める。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

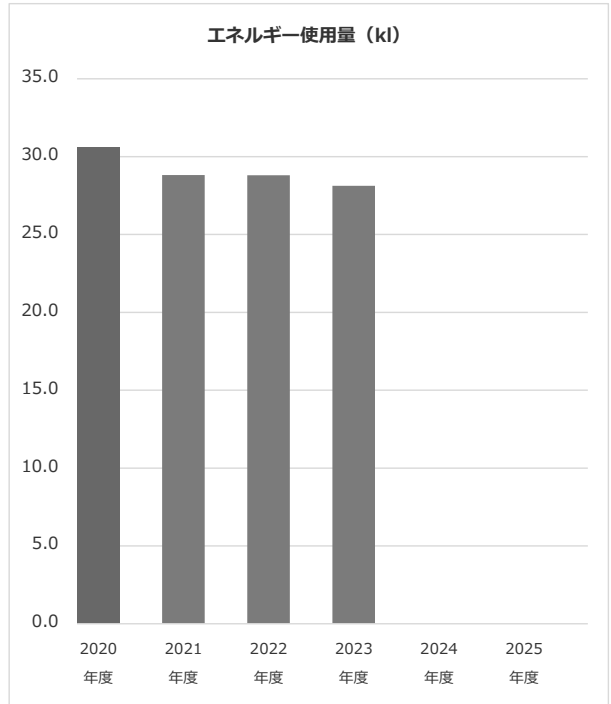
実績	前年度比	-2.3%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	前年度未達成の理由を検証し、推進責任者が筆頭となって職員各自が節電を意識し電力消費の削減に努めた。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	1187.0	1117.0	1116.4	1090.2		
エネルギー使用量(kl)	30.6	28.8	28.8	28.1	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-5.9%	-0.1%	-2.3%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況
1	消防署本署	計画 空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績 空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2		計画
		実績
3		計画
		実績



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月に実施（課員全員参加） 「C-EMS」改定内容と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課における取組目標及び具体的な取組を検討し設定した内容を周知した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月に実施（課員全員参加） 対象となる法令について、内容等を確認し周知した。
新任・異動者研修	■ 実施	12月に実施（新任及び異動者を対象に個別実施） 取組目標設定研修及び法令遵守確認研修を実施した。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月24日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
掲げた取組目標について、具体的な対策を講じることで目標を達成できた。 職員各自の意識もC-EMSの取組により浸透してきていると感じられる。 季節によってエネルギー使用量、資源の利用量及び廃棄物量は変化するが、状況に応じた環境活動を工夫して実施していた。 引き続き、職員全員が一丸となって向上心を持って取り組んでいくことが必要であると考える。	C-EMSの活動により職員への意識付けは向上している。 定期的に研修を実施することで知識及び意識を向上させ、職員の更なる理解を求めように取り組みを強化する。 消防署本署は建物及び設備の老朽化により、エネルギー使用量の削減については、現状のままでは努力の限界を感じることもあり、新たな取り組み等の設定についても考慮する必要がある。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月20日

部局等名	消防本部	課かい名	小和田警備第一課、小和田警備第二課 (小和田分署)	推進責任者 氏名	梶山浩正・古谷 賢
------	------	------	------------------------------	-------------	-----------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	エアコン使用時は、設定温度を意識し目標を遵守するよう努めた。使用していない照明やパソコンについては電源を切ることを徹底し、エネルギー使用量の削減を図った。
	具体的内容	・室温の目安として、夏季の冷房時25～28度、冬季の暖房時18～20度と設定し節電を図る。・使用していない照明やパソコンの電源をこまめに切るように職員へ周知する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	資料等を電子化して共有することで、印刷する枚数を削減するように促し、環境保全への貢献に努めた。
	具体的内容	紙で提供する必要のない情報や資料等は電子化して共有し、業務効率向上及び環境保全への貢献に努める。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品や消耗品等を丁寧に扱い使用期間を長期化することで廃棄物の削減をした。ごみの分別を徹底して行うことで削減に努めた。
	具体的内容	リユース可能な事務用品や消耗品類は丁寧に扱い、使用期間の長期化を図りながら廃棄物を減らし適切な管理を行う。また、ごみの分別を徹底し、削減を図る。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

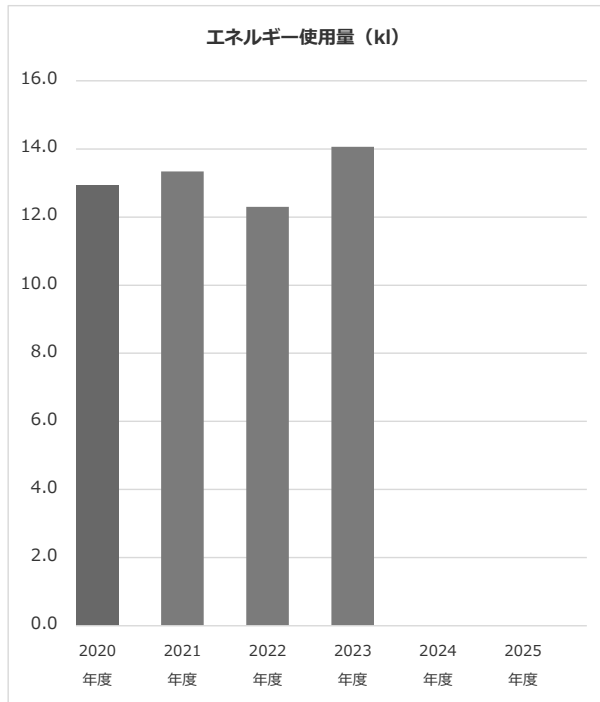
実績	前年度比	14.4% %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	外気温の上昇から冷房の使用率が増加した結果、エネルギー使用量の増加につながったと思われる。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	501.0	517.0	476.6	545.0		
エネルギー使用量(kl)	12.9	13.3	12.3	14.1	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	3.2%	-7.8%	14.4%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	小和田分署	計画	空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月に6回実施（出張所配置職員全員受講） C-EMSの概要と当該年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組内容を周知する。
法令遵守確認研修	■ 実施	取組目標設定研修に併せて実施（出張所職員全員受講） 対象となる法令について、内容等を確認する。
新任・異動者研修	■ 実施	7月の異動職員着任時に実施 C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組内容を周知をする。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月20日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
掲げた目標について、具体的な対策を講じて実施している。活動の実施状況については、C-EMS担当者を中心に節電や資源の有効活用を行い、エネルギー使用量や廃棄物の削減に努めた。職員の取り組みが目標の達成につながるよう努めていく必要があると考える。	職員のC-EMSに対する意識は担当者の活動により向上がみられる。前年度比での削減をするという目標は難易度が高くなっていくものとする。職員自らが取り組みの意識をより向上させることで、目標を達成できるように取り組みを強化する。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和6年5月21日

部局等名	消防本部	課かい名	寒川警備第一・二課小出張所	推進責任者氏名	小山 朋弘・矢野 謙一
------	------	------	---------------	---------	-------------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	・エネルギー使用量の削減で通勤におけるバイク利用の回数を減らすのは、通勤届通りが原則ですので、不適切です。令和6年度は、庁舎のパソコンやエアコン等のエネルギー削減を目指していきたい。
	具体的内容	通勤でバイク利用が多数であることから自転車や徒歩での通勤を年間のうち1人数回実施するよう依頼。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	・パソコンを積極的に活用し、使用する紙の量を削減した。 ・研修資料を電子化し、配布資料の削減を実施した。
	具体的内容	研修等で必要な資料はなるべく印刷せず、電子上で共有するなど、紙の使用を減らす。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	・ごみの分別を徹底し、ごみの削減に努めた。
	具体的内容	生ごみ等の排出にビニル袋をできるだけ使用せず、新聞紙や広告紙を代用する。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

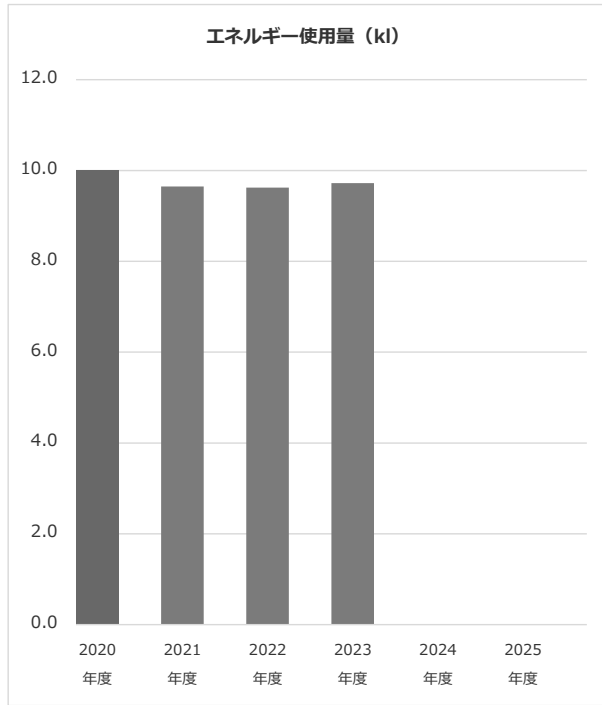
実績	前年度比	1.0%	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	温暖化の影響は大きいですが、担当者だけでなく職員全員に環境及び節電対策を実行する意義を周知して無理のない範囲で今年度もエネルギー削減に努めていた。体調不良にならない様に続けていく。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	387.0	374.0	373.1	376.9		
エネルギー使用量(kl)	10.0	9.6	9.6	9.7	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-3.5%	-0.2%	1.0%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	空調	計画	毎月1回フィルター清掃を実施する。
		実績	毎月1回フィルター清掃を実施した。
2	照明	計画	必要最小限の照明利用のため間引きを行う。(事務室、車庫)
		実績	必要最小限の照明利用のため間引きを行っている。(事務室、車庫)
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月に実施「C-EMS」改定内容と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課における取組目標及び具体的な取組を検討した内容を周知した。(出張所全職員)
法令遵守確認研修	■ 実施	6月に実施C-EMS担当者が環境法令関係の周知を行った。(出張所全職員)
新任・異動者研修	■ 実施	6月中にC-EMS担当者から対象者(異動者)に対し小出出張所の取り組みについて周知した。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月23日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
取組目標について、具体的な対策を実施することができた。 職員間でC-EMSに対する意識の取り組みが浸透している。 時期によりエネルギー量、資源の利用量及び廃棄物の量は変化するが、状況に応じ対応し、削減することを実施した。 引き続き、職員が向上心を持って取り組んで行くことが必要であると考え。	定期的に周知徹底し、知識及び意識を向上を図り、更にC-EMSに対する理解を深めるよう取り組みを強化していく。 建物及び設備の老朽化により、エネルギー使用量の削減について、限界は感じているが、更なる職員の協力により改善の余地が必要である。